

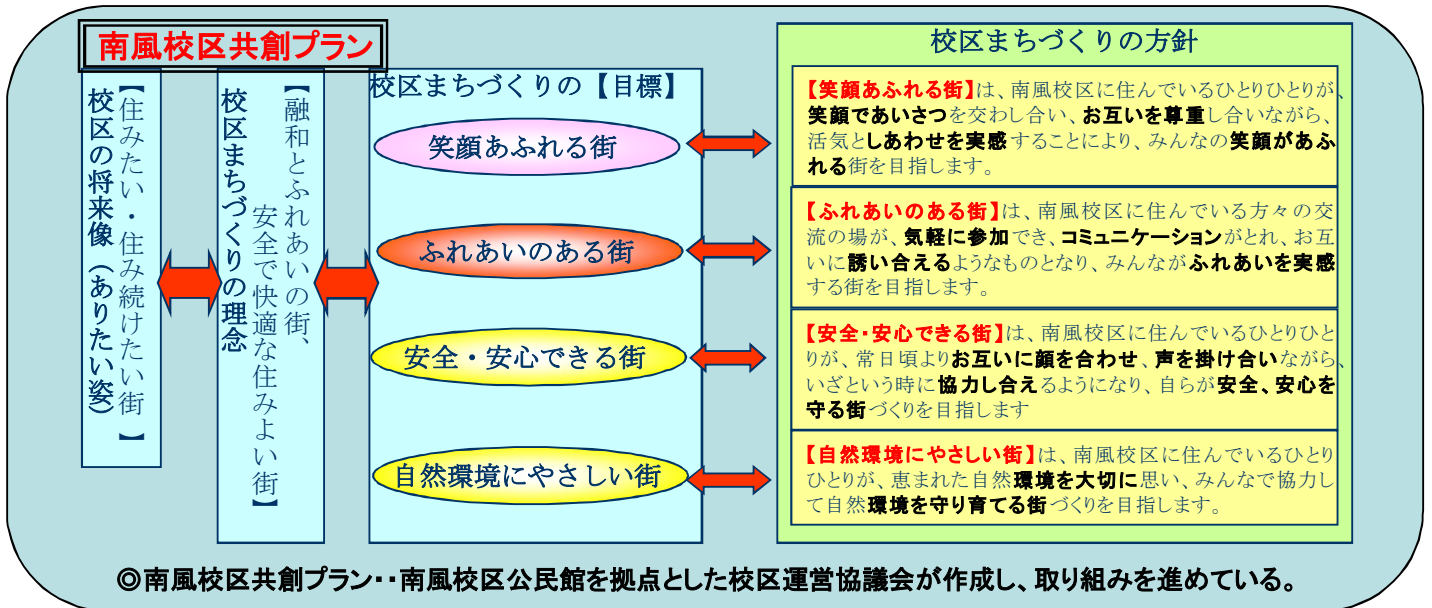
南風校区「三者連携による地域づくり」

【趣旨】

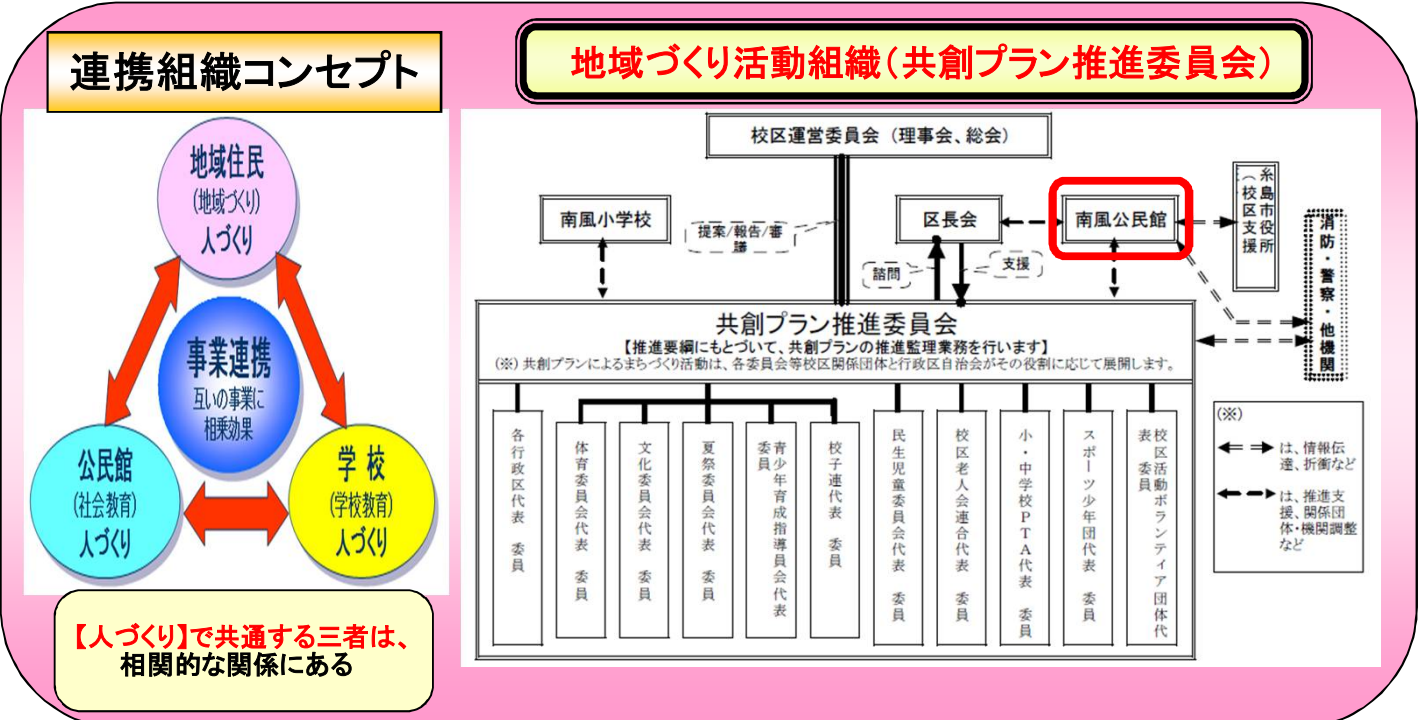
平成12年4月に発足した南風公民館。

各世代の地域住民と小学校と公民館の三者で構成される「南風校区運営協議会」の拠点として、よりよいまちづくりのために校区運動を推進しています。また、参加者自ら企画運営を行う講座や九州大学や関係団体との連携した講座など、多彩な講座を行い、地域の教育力の向上の中心的役割を担っています。

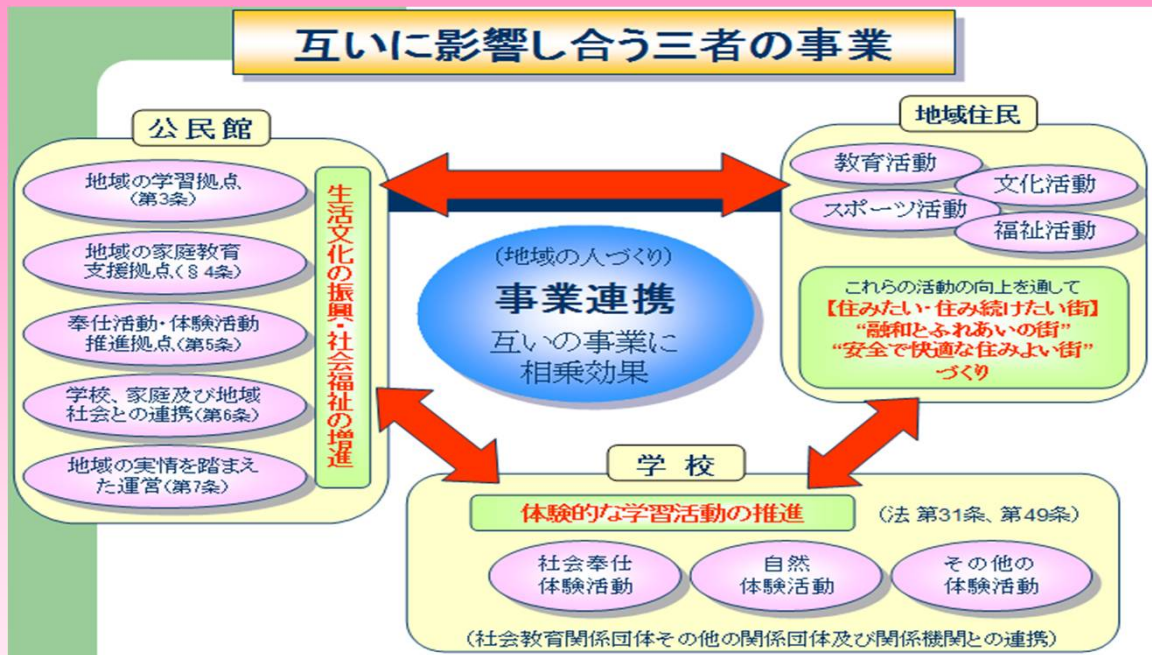
【基本計画】



【組織】



【連携の効果】



地域住民にとって

- 学校・PTAとの連携は、近隣関係に希薄な**保護者世代を巻き込んだ**事業展開が可能となる。
- 関係機関・団体間を結ぶ**多角的な事業**取組みが可能となる。
- 広範囲な情報の収集、**多彩な人材の活用**が可能となる。
- 文化、スポーツサークル組織等との連携は、**多様な価値観層を巻き込んだ**事業展開が可能となる。
- 保護者世代を巻き込む児童見守りは、**地域の安全・安心**にもつながる。
- 支援参加者にとって生活に**充実感**（高齢者には生活に**ハリ、生きがい**）が生まれる。

学校にとって

- 三者連携活動の中で、地域住民が、学校を【**身近な存在**】と感じてきた。
- 住民の多くが、南風小学校職員を**地域の【仲間】**と意識しており、学校自体を地域共同体の構成員と意識している。
- 学校から要請のある**学習支援活動への参加**は、住民の多くにとって【**普通**】のことであり、特別なことではない。
- 児童に**地域の一員との自覚**が芽生えている。
- 地域で見守られている潜在意識から**情緒が安定**する傾向があり教育活動にもプラス。

公民館にとって

- 住民による地域づくり活動を（**公民館の目的を常に念頭に置き**）連携・協働し、コーディネートすることは、「……一定区域内の住民の……生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する」という**公民館の事業目的に合致**する。
- 三者連携活動の中で、広く住民に【**公民館**】が周知され学習拠点としての利用は当然として、家庭教育や育児支援、学校外活動の支援等、公民館を利用したボランティア活動が**活発**に行われ、特に若い保護者世代が活発に活用するようになってくる。
- 公民館を【**身近**】に感じ、**公民館は自分達の施設との思い**が広がる。
- 自分達でできることで、**公民館の運営や維持管理への参加協力が【普通】**のことになってくる。

【お問合せ先】

糸島市立 南風公民館（南風コミュニティセンター ひまわり）

住所：糸島市南風台八丁目10番52号 TEL:092(322)9656

* 詳しくは、南風公民館HPへ「南風の街へようこそ」<http://www.city.itoshima.lg.jp/site/minakaze/>